

事業者向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3名	2名		1階床の部屋、畳の部屋、2階と、十分なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	4名	1名		国の定める人員の基準を満たす様、配置しております。また、個別の対応が必要な利用者がある場合、その点配慮しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2名	3名		バリアフリー化は不十分な点があります。その為、見学の際等には十分説明し、今現在重度の身体の障がいの方は受け付けていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5名			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5名			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4名	1名		事業所入り口に常に閲覧可能な状態で配置し、HP等での閲覧も可能な様に只今準備中です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1名	4名		H31.2現在、第三者による評価等は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5名			
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4名	1名		最初のアセスメント、都度の面談や会議等は適切に行い、また相談支援員との連携の上で、計画の作成を行っています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5名			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4名	1名		事業所スタッフ全員で意見を出し合い、可能な限り全スタッフの連携の下、また保護者や利用者からの意見・ニーズも取り入れながら、毎回変化のある、楽しめる活動プログラムの作成を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3名	2名		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4名	1名		平日に行うべき事、休日や長期休暇中だからこそ行える事などをきちんと分け、設定をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4名	1名		当然、子どものその日その時の状態に合わせた活動の計画・実施をしています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5名			
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4名	1名		支援終了時ですが、1日の始めにはミーティングを行い、振り返りと共有、その日の支援についての話し合いを行っています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5名			

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4名	1名		必ず、最低半年に1度は、モニタリング・個別支援の会議を経ての見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	4名	1名		ガイドラインを念頭に置いた支援を心掛ける様に周知徹底を図っています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4名	1名		まず基本的に必ず管理者・児発管は参加し、必要に応じその他スタッフも参加する様にしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5名			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1名	3名	1名	医療的ケアは不十分な点があります。その為、見学の際等には十分説明し、今現在専門的な医療的ケアを必要とされる方は受け付けていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3名	2名		必要に応じ、就学前施設との連携・連絡を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2名	3名		必要に応じ、障害福祉サービス事業所との連携・連絡を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2名	2名	1名	その必要性がある場合には、相談支援員も含め、相互の連携・会議等を行っています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2名	2名	1名	普段からの戸外活動はもちろん、障がいのない子どもとの交流も自然な形で生まれています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2名	2名	1名	協議会の案内があり、可能な時には積極的に参加する様にしています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5名			
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3名	2名		必要に応じ、またその保護者の性格等も考慮の上、普段から可能な範囲でのアドバイス等は行っています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5名			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5名			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3名	2名		この点は課題です。まず1回、実際に何かしらの交流の機会を計画・実施しなければなりません。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5名			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5名			
	35	個人情報に十分注意しているか	5名			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5名			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4名	1名		事業所行事への招待等は、今現在行っていません。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3名	2名		各種マニュアルの作成、スタッフへの周知、HPIによる保護者への開示も行っています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3名	2名		避難訓練は実施しています。救出訓練等は、今後計画・実施していく必要があります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5名			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2名	3名		年に1度は必ず事業所内にてスタッフに対し身体拘束の研修を行い、保護者に対しては契約時の説明の他、各種マニュアルと同様HPIにて開示しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2名	2名	1名	利用開始前のアセスメントの際、必ず保護者との連携を図り、スタッフにも周知しています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3名	2名		ヒヤリハットの作成、職員間での周知も行っています。今後は、更にパート職員含めた周知・徹底を図っていきます。